

2011UG0006 石井 悠花

場所：トリーア大学

期間：認定留学(2013/03~2014/02)

街の雰囲気：

ドイツの西に位置しているためルクセンブルク、フランスへのアクセスが非常にいい。ドイツ最古の町で世界文化遺産が9ヶ所もあるが、**Würzburg** や **Marburg** に比べ駅も町全体も小さい。大都市ではなくどちらかというと自然あふれローマ時代から続く街並みを大事にしている旧市街である。アジアよりヨーロッパからの観光客が多い。アジアマーケットが2つあるので日本食も手に入るが高い。

大学：

日本語学科があるため日本各地から毎年10~40人ほど留学生が来る。日本語学科主催で毎月 **Stammtisch** が行われる。また **ASTA** という団体も、学期始め(終わり)パーティー、留学生歓迎パーティー、ハロウィンなどのイベントを定期的で開催する。**TUNIKA** という学生証が発行され、これがあれば **Trier** 内のバスはもちろん **Koblenz** から **Saarbrücken** までの電車が無料。現金でもいいが **TUNIKA** で学食やカフェの支払いもできる。

部屋探し：

協定校はトリーア大学の学生寮に入れるが、京都外国語大学は残念ながら協定校ではないので、地域の学生寮もしくは **WG** に住む。学生寮はキャンセル待ちが多く予約必須で、ほとんどが1年契約。どこの学生寮も台所、風呂、トイレは各部屋にあり、洗濯機(1回につき2€)は共同である。家賃は250€前後(電気代、ネット代、水道代込)。

語学コース：

B2 以上が望ましい。学期前に3週間ほどの準備コースがある。テストによってクラス分けされ午前中に授業、午後から手続きをし、週末には観光も兼ねて遠足も行われる。準備コースが終われば、通常授業と夕方に **Daf(Deutsch als Fremdsprache)** が始まる。こちらも準備コースと同様テストによってクラス分けされる。